準

号(平成十二年 月 日)

改 正 案 現 行
準耐火構造の防火区画等を貫通する給水管、配電管その他の管の外径を定める基 耐火構造の防火区画等を貫通する給水管、配電管その他の管で防火上支障がない

昭和四十四年七月三日 建設省告示第三千百八十三号

<u>耐火構造</u>の防火区画等を貫通する給水管、配電管その他の管で防火上支障がないと認める基準

昭和四十四年七月三日 建設省告示第三千百八十三号

建築基準法施行令(昭和二十五年政令第三百三十八号。以下「令」という。)<u>第</u>百二十九条の二の五第一項第七号口の規定に基づき、同令第百十二条第十五項の<u>準耐火構造</u>等の防火区画、第百十三条第一項の防火壁、第百十四条第一項の界壁、同条第二項の間仕切壁又は同条第三項若しくは第四項の隔壁を貫通する給水管、配電管その他の管の外径を当該管の用途、材質その他の事項に応じて次のように定める

建築基準法施行令(昭和二十五年政令第三百三十八号。以下「令」という。)<u>第</u>百二十九条の二の二第一項第七号<u>ただし書</u>の規定に基づき、同令第百十二条第十五項の耐火構造等の防火区画、第百十三条第一項の防火壁、第百十四条第一項の界壁、同条第二項の間仕切壁又は同条第三項若しくは第四項の隔壁を貫通する給水管、配電管その他の管で防火上支障がないと認める基準を次のように定める。

- 一 給水管、配電管その他の管(以下「給水管等」という。)は、準不燃材料、 難燃材料又は硬質塩化ビニルで造られていること。
- 二 給水管等の<u>外径は、別表二に掲げる呼称寸法に応じた寸法とし、呼称寸法</u>は その用途、おおいの有無及び当該給水管等が貫通する床、壁、柱又ははり等の 防火性能若しくは耐火性能に応じて、それぞれ別表一に掲げる寸法以下である こと。
- 二 給水管等の<u>太さ</u>は、その用途、おおいの有無及び当該給水管等が貫通する床、壁、柱又ははり等の防火性能若しくは耐火性能に応じて、それぞれ別表一<u>及び二</u>に掲げる寸法以下であること。

一 給水管、配電管その他の管(以下「給水管等」という。)は、準不燃材料、

難燃材料又は硬質塩化ビニルで造られていること。

- 三 内部に電線等を挿入していない予備配管にあつては、当該管の先端を密閉してあること。
- 三 内部に電線等を挿入していない予備配管にあつては、当該管の先端を密閉してあること。

別表一

別表一

		給水管等が貫通する床、壁、柱又ははり等の構造			
給水管等	おおいの	区分			
の用途	有無	防火構造	三十分耐火	一時間耐火	二時間耐火
		1737 (1732	構造	構造	構造
配電管		八十二ミリ	八十二ミリ	八十二ミリ	八十二ミリ
地电台		メートル	メートル	メートル	メートル
給水管		百ミリメー	百ミリメー	百ミリメー	七十五ミリ
紀小官		トル	トル	トル	メートル
	おおいの	百ミリメー	百ミリメー	七十五ミリ	五十ミリメ
	ない場合	トル	トル	メートル	ートル
排水管及	厚さ〇.				
び排水管	五ミリメ				
に附属す	- トル以	五一十五三	五一十五三	百ミリメー	++ ∓511
る通気管	上の鉄板		リメートル		
の地が目	でおおわ	ソスートル	ソクードル	עלין	メートル
	れている				
	場合				

- 一 この表において、三十分耐火構造、一時間耐火構造及び二時間耐火 構造とは、通常の火災時の加熱にそれぞれ三十分、一時間及び二時間 耐える性能を有する構造をいう。
- 二 この表による寸法は、呼称寸法をいい、その外径及び肉厚は別表二 に示すところとする。
- 三 給水管等が貫通する令第百十二条第十項ただし書の場合における同項ただし書のひさし、床、そで壁その他これに類するものは、三十分耐火構造とみなす。

		給水管等が貫通する床、壁、柱又ははり等の構造区			
給水管等	おおいの 有無	分			
の用途		防火構造	三十分耐火	一時間耐火	二時間耐火
			構造	構造	構造
配電管		八十二ミリ	八十二ミリ	八十二ミリ	八十二ミリ
地电片		メートル	メートル	メートル	メートル
給水管		百ミリメー	百ミリメー	百ミリメー	七十五ミリ
がロントロ		トル	トル	トル	メートル
	おおいの	百ミリメー	百ミリメー	七十五ミリ	五十ミリメ
排水管及 び排水管 に附属す る通気管	ない場合	トル	トル	メートル	ートル
	厚さ〇.				
	五ミリメ				
	ートル以	五一十五三	百二十五ミ	ロミニメー	+ +5≥11
	上の鉄板		リメートル		メートル
	でおおわ	· ソ グー ・ ル		1 70	/ I/V
	れている				
	場合				

- 一 この表において、三十分耐火構造、一時間耐火構造及び二時間耐火構造とは、通常の火災時の加熱にそれぞれ三十分、一時間及び二時間耐える性能を有する構造をいう。
- 二 この表による寸法は、呼称寸法をいい、その外径及び肉厚は別表二に 示すところとする。
- 三 給水管等が貫通する令第百十二条第十項ただし書の場合における同項 ただし書のひさし、床、そで壁その他これに類するものは、三十分耐 火構造とみなす。

別表二

給水管等の用途	呼称寸法	外径	肉厚
配電管	八十二ミリメー	八十九ミリメー	五. 五ミリメー
	トル 百二十五ミリメ	トル以下	七. 〇ミリメー
	ートル	トル以下	トル以上
給水管・排水管	百ミリメートル	百十四ミリメー トル以下	六 . 六ミリメー トル以上
及び排水管に附属する通気管	七十五ミリメートル	八十九ミリメ ー トル以下	五 . 五ミリメー トル以上
	五十ミリメート ル	十ミリメートル 以下	四. ーミリメートル以上

附 則

この告示は、平成 年 月 日から施行する。

別表二

給水管等の用途	呼称寸法	外径	肉厚
配電管	八十二ミリメー	八十九ミリメー	五. 五ミリメー
	トル	トル以下	トル以上
給水管・排水管 及び排水管に附 属する通気管	百二十五ミリメ	百四十ミリメー	七.〇ミリメー
	ートル	トル以下	トル以上
	百ミリメートル	百十四ミリメー	六 . 六ミリメー
		トル以下	トル以上
	七十五ミリメー	八十九ミリメー	五.五ミリメー
	トル	トル以下	トル以上
	五十ミリメート	十ミリメートル	四.一ミリメー
	ル	以下	トル以上